



2024年8月22日

各位

会社名 株式会社エンビプロ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐野 富和
(コード番号：5698 東証プライム)
問合せ先 取締役 管理管掌 竹川 直希
(TEL. 0544-21-3160)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況

当社は、2023年8月22日に、「上場維持基準の適合に向けた計画について」を提出し、その内容について開示しております。基準日（2024年6月30日）時点における計画の進捗状況について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2024年6月30日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め、下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は今回不適合となった流通株式時価総額について、2025年6月末までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取り組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況	2023年6月30日	11,629人	131,366単位	76億円	43.6%
	2024年6月30日	12,173人	133,077単位	68億円	44.0%
上場維持基準		800人以上	20,000単位以上	100億円以上	35%以上
計画期間		—	—	2025年6月末	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価（2023年7月～2024年6月）

(1) 取組の実施状況

当社は、2023年8月22日に公表した「上場維持基準の適合に向けた計画について」において、流通時価総額を増大させるための基本方針として、「①中期経営計画の着実な遂行、②株主還元施策の実施、③IR活動を含む情報発信力の強化」の3つを掲げました。本方針に基づく、取

り組み状況は以下のとおりです。

(2) 取組に対する評価

① 中期経営計画の着実な遂行

当社は2023年8月22日に、ローリング方式にて2028年6月期を最終年とする中期経営計画を開示致しました。資源循環事業では、解体工事、ポリマー製品製造、焼却灰等からの金銀滓回収を注力事業と定め、これら事業は高い成長率で推移しています。グローバルトレーディング事業では、ビジネスモデルの転換による収益体質の改善を目論み、増収増益で着地し、今後も成長を見込んでおります。リチウムイオン電池リサイクル事業は、予定どおり茨城工場稼働に向け準備し、成長市場におけるシェア拡大を取り組みました。

② 株主還元施策の実施

2024年6月期における配当額は、輸出販売における税務当局との見解相違及び火災による特別損失を計上した影響で減配となりました。2025年6月期は基本方針である連結配当性向25%~35%を目標として、期末配当金につきましては1株当たり15円を予定しております。

③ IR活動を含む情報発信力の強化

機関投資家向けの決算説明会、1on1ミーティングに加え、施設見学会、個人投資家向けの事業説明会を実施しました。またESGデータ公表内容の拡充を図り、CDPにおいては「A-」のスコアを獲得しました。当社の事業の中心は循環型社会実現に向けた課題解決なので、会社の目的と事業の成長が社会貢献と同期していると認識しており、今後も投資家の皆様との積極的な対話をつうじて、当社の企業価値の理解促進に努めてまいります。

3. 流通株式時価総額のこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

当社では、昨年度に続き、ローリング方式にて2029年6月期を最終年とする中期経営計画を策定し、その中で、計画最終年の目標を売上高860億円、経常利益47億円、ROE14%、ROIC9%としております。また本日「中期経営計画（中計2029）」を決議し、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について併せて掲載開示しております。引き続き上場維持基準の適合に向けて「①中期経営計画の着実な遂行、②株主還元施策の実施、③IR活動を含む情報発信力の強化」の方針に基づき取り組んでまいります。

今後も更なる企業価値向上に向け、IR活動を一層充実させてまいります。株主様をはじめとする多くのステークホルダーの皆様のご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

以上